

主な仕様

チューナー部	
電波型式	110KF3E
回路方式	ダブルスーパー・ヘテロダイン方式
受信周波数	806.125 ~ 809.750 MHz
局部発振	水晶制御 PLL シンセサイザ
2信号選択度	60 dB 以上 (± 250 kHz 離調時)
スプリアス妨害比	70 dB 以上
イメージ妨害比	60 dB 以上
RF ミューティングレベル	30 dB μ ¹⁾
周波数特性	100 ~ 15,000 Hz ± 3 dB
ディエンファシス	50 μ s
信号対雑音比	40 dB 以上、20 dB μ 入力時 (A-weighted) 60 dB 以上、60 dB μ 入力時 (A-weighted) (周波数偏移 ± 5 kHz、変調周波数 1 kHz 時)
ひずみ率	1.0% 以下 (周波数偏移 ± 40 kHz 時、変調周波数 1 kHz)
トーン信号周波数	32.768 kHz
出力レベル	-28 dBu ²⁾ (周波数偏移 ± 5 kHz 時、変調周波数 1 kHz)
出力端子	マルチコネクター (10 ピン)

¹⁾0 dB μ = 1 μ V²⁾0 dBu = 0.775 Vrms (開放端電圧)

電源部・その他

電源電圧	DC 9 V
消費電流	約 225 mA
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C
許容保存温度	-20 °C ~ +55 °C
外形寸法	57 × 26 × 122 mm (幅／高さ／奥行き)
質量	約 160 g
付属品	取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニー業務用商品相談窓口のご案内 (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかるわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

本機の性能を維持するために

- ・本機は周囲温度 0 °C ~ 40 °C の範囲で使用してください。
- ・本機を電力機器（回転機、変圧機、調光器など）に近接して使用すると、磁気誘導を受けることがありますので、できるだけ離して使用してください。
- ・電飾などの照明器具により、かなり広範囲の周波数帯域にわたり電波が発生し、妨害を受けることがあります。この場合、受信アンテナの位置やワイヤレスマイクロホンの使用位置により妨害が増減しますので、なるべく妨害を受けない位置で使用してください。
- ・本機を騒音の多い場所で使用すると、振動が直接本体に伝わり、雑音発生（マイクロホニック）の原因となり、規定の S/N を満足しない場合があります。影響を受けると考えられるものには次のようなものがありますので、充分に注意してください。
 - 回転機、変圧器などの付近
 - 空調機器より発生する騒音、または風を直接受ける場合
 - PA (Public Address) システムのスピーカー付近
 - スタジオなどに設置していて、スタジオの機器をぶつけたり、たたいたり、物を落としたりした場合
- 対策として、影響を受ける条件からできるだけ離す、緩衝材を敷くなどしてください。
- ・表面や端子部の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

・調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

・それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

・保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

・保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー営業所にお問い合わせください。

SONY

UHF シンセサイザー チューナーユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。この取扱説明書と MB-X6 の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WRU-806



3867236070

© 1999 Sony Corporation

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・安全のための注意事項を守る。
- ・長期間安全にお使いいただくためには、定期点検することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- ・故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。
- ・万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



① 電源供給機器の電源を切る。

② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。



炎が出たら



すぐに電源を切り、消火する。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、再生紙を使用しています。

Printed in Japan

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

高温下では使用しない

高温の場所で本機を使用すると、火災、発火、発煙の原因となることがあります。

周囲温度が 40 °C を超える場所や、直射日光のあたる場所では使用しないでください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機が接続されている電源供給機器の電源を切り、お買い上げ店またはソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、けがをしたり

周辺の物品に損害を与えることがあります。



禁止

シャープエッジには素手で触れない

この製品は、エッジが露出しており、手を触るとけがをするおそれがあります。

機器の開梱、運搬及び設置の際には、けがを防ぐため保護手袋を着用するように使用者に注意喚起を行ってください。

概要

WRU-806 は、806 ~ 810 MHz 帯を使用した特定小電力無線局 (B 型)に対応した UHF シンセサイザーチュナーユニットです。チューナーベースユニット MB-X6 に組み込み、ソニー UHF ワイヤレスマイクロホンやトランスミッター (WRT シリーズ) と組み合わせて使用します。

PLL シンセサイザー方式

簡単なボタン操作で、B 型 30 チャンネルの切り替えが可能です。

多チャンネル同時運用チャンネルプランを内蔵

B 型標準チャンネルプランがプログラムされており、多チャンネル同時運用でも混信がなく、安定した受信が可能なチャンネル設定を容易に行うことができます。

多彩な情報表示

受信チャンネル、高周波入力レベル、送信機のバッテリーアラームなど、各種の情報を液晶ディスプレイやインジケーターで表示することができます。

スペースダイバーシティ方式

ドロップアウトのきわめて少ない安定した受信ができます。

トーンスケルチ回路

受信待機時に不要信号やノイズの出力を防ぐトーンスケルチ回路が内蔵されています。

コンパンダー（帯域圧縮・伸長）伝送方式

無線伝送系の外来雑音に強く、広域エリアでの運用が可能です。

MB-X6 に取り付ける

本機は、MB-X6 に 6 台まで取り付けられます。

◆ 本機の操作方法については、MB-X6 の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 必ず MB-X6 の電源を OFF にしてください。
- 本機前面のボタンや表示部を強く押すとこわれることがあります。必ず本機側面を持ってください。
- 本機後面の端子部に手を触れないでください。
- 静電気にご注意ください。

取り付けかた (図 A 参照)

1 MB-X6 のフロントカバー左右の 2 本のネジをゆるめてフロントカバーを下へスライドさせ、左右のネジの頭を持って引き出してフロントカバーを外す。

2 本機の側面を持ってスロットに入れ、止まるところまで押し込む。

3 本機を 2 台以上取り付けるときは、フロントカバーの表側から取り付けたいスロットのブランクパネルを押して取り外す。

4 MB-X6 のフロントカバー裏面の 6 個のツメを MB-X6 本体のフロントパネルの穴にしっかりと合わせてフロントカバーをはめ込み、左右のネジを締めて固定する。

取り外しかた (図 B 参照)

MB-X6 のフロントカバーを外した状態で本機の側面を持って、スロットから引き出します。

エラーメッセージ

ディスプレイ部には、通常の表示の他に次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	内容	対応
Err 01	バックアップメモリー データにエラーが発生しました。	データが初期化されるため、グループ、チャンネルを再度設定してください。
Err 02	PLL シンセサイザーリード ソニーのサービス窓口にお持ちください。	ソニーのサービス窓口にお持ちください。
NO TONE	トーン信号がないか、または 32.768 kHz 以外のトーン信号の電波を受信して音声信号出力がミューティングされています。	別の送信機でも同じように NO TONE が表示されれば、ご使用の受信機に異常があります。ソニーのサービス窓口にお持ちください。

